5年 SPF企画委員会　×　協働スキル

【委員会の紹介】
毎年5・6月に行われるスポーツフェスティバルを
全校生徒の中心となり運営する委員会
活動期間：12月-7月（約7カ月）
学年：後期のみ

【目的】
TGUISSの行事の最大の特徴
先生が主体なのではなく×
全校生徒でつくりあげる〇
その手助けをすることが目的

【行事を支えるうえで大切にしたこと】

🌟報連相
委員会結成当初は事後報告になってしまうことや同じ役職なのにも関わらず、人によって情報量の差がうまれてしまった
しかし報連相を徹底し、自分の判断だけで行動しないことを大切にした

🌟全校生徒が楽しめるように
今年は新競技を提案するという例年とは違うところが多く見受けられた。しかしその中で競技を行う人も見る人も楽しめるspfとはなにかを常に考えた

【役職紹介】
委員長・副委員長・会計・書記（四役）
応援団・横断幕・パンフ・景品
➤応援団をまとめる、全校生徒に配布するパンフレットや景品の作成
事前練習・オリエンテーション
➤事前練習を予定組み立てる、オリエンテーションの運営の中心となる
名簿・招集
➤全校生徒の名簿を管理、当日の欠席や競技の名簿の管理
用具・物品
➤当日また、事前練習での物品を管理

自分の担当した役職
＜副委員長＞
〇主に委員長のサポート
〇前日準備の各作業の見回り
〇演技図の作成
➤前年度のものを参考に曖昧な表現を訂正し、作成する
〇当日のスケジュール作成
➤前年度のスケジュールで何分余ったのか逆に何分足りなかったのかなど塩梅をみて訂正
〇審判の割り振り

自分の担当した役職
＜名簿・招集 部署＞
〇全校生徒分の名簿作成
➤実行委員が入力しやすいよう、Excelシステムを作成
〇人数・補欠調整
➤競技の公平性のため、不正の内容に調整
〇当日の欠席者対応
➤当日の急な補欠調整などに対応
〇当日の各競技の出場者招集

【協働スキル実例】

BEFORE
①新競技はどのようなものがいいのか、企画委員内で意見が割れてしまった
➤お互いの意見に聞く耳を持たなかった

Qどのように解決したのか？
・候補に挙がった新競技のメリットデメリットをそれぞれ挙げ、さらに実際に競技を実践して試した！

AFTER
全員が納得して、新競技を決定することができた！
➤それぞれの競技のメリットデメリットを全員が感じることができ、お互いの意見を聞くように！
協働スキル「他者への傾聴」が関連している

②生徒から企画委員内で人によって言ってることが違うと言われてしまった
➤情報の伝達が怠っていた

Qどのように解決したのか？
・会議の回数や会議の内容を改めたことによってお互いの情報を共有する時間を増やして解決した
チームスなどのsnsツールの活用

情報の格差をうめて、スムーズな運営ができた！
➤自分だけの判断に委ねずに報連相を徹底！
協働スキル「他者との効果的な交渉」

写真1 2025年度spf委員長集合写真

【協働スキルの観点からの自分たちの課題】

1　他部署との連携があまり取れなかった
　他部署同士では、それぞれの役割や仕事が異なるため、全ての情報を把握し合う、ということが難しかった。そのため、情報共有や情報把握に時間がかかってしまった場面があった。
→　お互いの状況を理解しやすいように進捗状況などを整理してまとめる！　例：議事録や一言まとめを毎回記録する

2　SpF実行委員との連携があまり取れなかった
　特に前期課程のSpF実行委員は不慣れな部分もあり、意思疎通が難しい場面もあった
→　ただ言葉だけで説明や指示を出すのではなく、直接話しながら説明などをする！　例：名簿などを一緒に作成するなど

写真2 競技トライアル中の様子

写真3 当日の様子